



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッキ

コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 和田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 田中 宣夫

TEL 046-285-0227

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,271	△7.9	352	△26.2	292	△26.2	342	△57.3
24年3月期第2四半期	4,638	10.1	478	14.3	396	38.9	803	257.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 342百万円 (△54.7%) 24年3月期第2四半期 756百万円 (316.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	36.57	—
24年3月期第2四半期	85.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	10,797	3,704	33.5	385.46
24年3月期	10,616	3,547	31.0	351.20

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,613百万円 24年3月期 3,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,780	△2.3	620	△28.1	530	△35.9	460	△63.1	49.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	10,000,000 株	24年3月期	10,000,000 株
25年3月期2Q	625,795 株	24年3月期	624,361 株
25年3月期2Q	9,375,208 株	24年3月期2Q	9,376,125 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等はあるものの、欧州の債務・金融問題や中国経済の減速等、対外経済環境の不確実性の高まりを背景とした海外景気の下振れ懸念や円高の長期化等により、景気回復の動きに足踏みが見られ、依然として厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、タイ市場の回復の遅れや北米・中国・欧州市場の低迷等の影響もあり、連結売上高は42億7千1百万円（前年同期比7.9%減少）となりました。

損益面につきましては、営業利益は3億5千2百万円（同26.2%減少）、経常利益は2億9千2百万円（同26.2%減少）、四半期純利益は3億4千2百万円（同57.3%減少）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

自動車機器事業はフォークリフト用気化器の販売が減少し、売上高は4億8千5百万円（同20.0%減少）となりましたがコスト削減効果により、セグメント利益は5千1百万円（同2.4%増加）となりました。

ガス機器事業は豪州向け燃料噴射システム機器は増加したものの、韓国・タイ市場向け燃料噴射システムが減少したため、売上高は19億2千4百万円（同9.6%減少）、セグメント利益は1億1千2百万円（同54.7%減少）となりました。

汎用機器事業は主要マーケットである米国向けが引き続き低調に推移したことにより、売上高は26億6千2百万円（同6.0%増加）、セグメント損失は為替の影響もあり4千8百万円（前年同期は4千3百万円の損失）となりました。

不動産賃貸事業は売上高2億7千4百万円（同6.9%増加）、セグメント利益は2億3千7百万円（同11.7%増加）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①財政状態の分析

##### （資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、107億9千7百万円と前連結会計年度末と比べて1億8千万円増加しました。主な増減項目は、投資有価証券の増加（2億3千2百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（1億3千7百万円）であります。

##### （負債の部）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、70億9千3百万円と前連結会計年度末と比べて2千4百万円増加しました。主な増減項目は、その他固定負債の増加（8千万円）及び退職給付引当金の減少（4千9百万円）であります。

##### （純資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、37億4百万円と前連結会計年度末と比べて1億5千6百万円増加しました。主な増減項目は、利益剰余金の増加（2億8千6百万円）、少数株主持分の減少（1億6千3百万円）であります。

#### ②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における、現金及び現金同等物の残高は、投資活動によるキャッシュ・フローの減少（5億5千6百万円）及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少（1億3千7百万円）が営業活動によるキャッシュ・フローの増加（5億8千8百万円）を上回り、また、現金及び現金同等額に係る換算差額の増加（4百万円）による調整を行った結果、現金及び現金同等物の残高は、25億4千6百万円（前第2四半期連結累計期間は22億6千2百万円）となり、前第2四半期連結累計期間と比べて2億8千4百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は5億8千8百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益（2億9千2百万円）、減価償却費（2億4千1百万円）、売上債権の減少（1億4千3百万円）によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は5億5千6百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出（2億2千万円）、投資有価証券の取得による支出（2億1千6百万円）によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は1億3千7百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出（1億2千5百万円）によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月26日に「業績予想の修正に関するお知らせ」に公表しましたとおり、通期の連結業績予想につきましては、為替動向や欧州債務・金融問題等による景気の先行き不透明感が一段と強まっていることから現時点においては前回予想を据え置いております。また、配当の予想につきましても変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,693,169	2,591,782
受取手形及び売掛金	1,809,224	1,671,268
商品及び製品	317,923	379,396
仕掛品	834,052	741,686
原材料及び貯蔵品	29,751	27,501
その他	123,055	245,826
貸倒引当金	△7,752	△6,455
流動資産合計	5,799,424	5,651,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,951,174	1,923,615
機械装置及び運搬具(純額)	954,908	987,128
その他(純額)	698,796	646,417
有形固定資産合計	3,604,880	3,557,161
無形固定資産	70,947	217,752
投資その他の資産		
投資有価証券	1,130,991	1,363,031
その他	10,719	8,978
投資その他の資産合計	1,141,710	1,372,009
固定資産合計	4,817,537	5,146,923
資産合計	10,616,962	10,797,930
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,012,625	973,283
短期借入金	1,736,730	1,731,880
未払法人税等	14,495	5,467
賞与引当金	123,701	134,445
その他	790,699	850,439
流動負債合計	3,678,252	3,695,516
固定負債		
長期借入金	569,710	548,770
退職給付引当金	1,530,300	1,480,493
役員退職慰労引当金	100,634	98,260
環境対策引当金	7,352	7,352
その他	1,183,527	1,263,527
固定負債合計	3,391,524	3,398,403
負債合計	7,069,776	7,093,919

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	49,674	49,674
利益剰余金	2,807,780	3,094,373
自己株式	△295,523	△295,841
株主資本合計	3,061,932	3,348,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	381,841	392,219
為替換算調整勘定	△151,057	△126,946
その他の包括利益累計額合計	230,783	265,273
少数株主持分	254,470	90,530
純資産合計	3,547,186	3,704,010
負債純資産合計	10,616,962	10,797,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,638,805	4,271,233
売上原価	3,532,322	3,296,654
売上総利益	1,106,482	974,579
販売費及び一般管理費	628,081	621,747
営業利益	478,401	352,832
営業外収益		
受取利息	682	1,214
受取配当金	23,265	20,548
その他	7,576	7,751
営業外収益合計	31,524	29,513
営業外費用		
支払利息	40,934	36,128
為替差損	69,416	50,111
その他	3,486	3,922
営業外費用合計	113,837	90,162
経常利益	396,088	292,184
特別利益		
固定資産売却益	474,115	129
特別利益合計	474,115	129
特別損失		
固定資産除売却損	26	123
投資有価証券評価損	53,667	—
特別損失合計	53,693	123
税金等調整前四半期純利益	816,510	292,190
法人税等	3,372	1,861
少数株主損益調整前四半期純利益	813,138	290,329
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,671	△52,517
四半期純利益	803,466	342,846



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	813,138	290,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89,810	10,377
為替換算調整勘定	32,809	41,755
その他の包括利益合計	△57,001	52,133
四半期包括利益	756,136	342,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	735,404	377,336
少数株主に係る四半期包括利益	20,732	△34,873

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	816,510	292,190
減価償却費	318,894	241,350
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△21,890	△50,229
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	14,675	△2,376
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,593	△1,296
賞与引当金の増減額（△は減少）	△13,968	10,744
受取利息及び受取配当金	△23,947	△21,762
支払利息	40,934	36,128
為替差損益（△は益）	1,875	10,096
投資有価証券評価損益（△は益）	53,667	—
固定資産除売却損益（△は益）	△474,088	△6
売上債権の増減額（△は増加）	△298,514	143,330
たな卸資産の増減額（△は増加）	11,249	41,732
仕入債務の増減額（△は減少）	284,680	△40,013
その他	12,155	△42,992
小計	723,826	616,894
利息及び配当金の受取額	23,947	21,762
利息の支払額	△41,263	△36,038
法人税等の支払額	△13,717	△14,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	692,793	588,246
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50,481	—
定期預金の払戻による収入	50,442	—
子会社株式の取得による支出	—	△121,257
投資有価証券の取得による支出	—	△216,000
有形固定資産の取得による支出	△177,456	△220,090
有形固定資産の売却による収入	427,500	—
無形固定資産の取得による支出	△168	—
貸付金の回収による収入	384	525
その他	△189	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	250,029	△556,942
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	199,998	—
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△126,640	△125,790
自己株式の取得による支出	—	△318
リース債務の返済による支出	△45,774	△54,311
配当金の支払額	△28,128	△56,253
少数株主への配当金の支払額	△5,486	—
その他	△524	△540
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,556	△137,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,456	4,081
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	973,722	△101,827
現金及び現金同等物の期首残高	1,288,386	2,648,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,262,109	2,546,682

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車機器事業	ガス機器事業	汎用機器事業	不動産賃貸事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	607,416	2,129,370	2,511,031	257,264	5,505,081	△866,276	4,638,805
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	607,416	2,129,370	2,511,031	257,264	5,505,081	△866,276	4,638,805
セグメント利益(又は損失△)	50,094	247,104	△43,312	212,980	466,866	11,534	478,401

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△866,276千円及びセグメント利益の調整額11,534千円は、主に連結会社間の内部取引消去等の連結修正金額であります。

2. セグメント利益(又は損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車機器事業	ガス機器事業	汎用機器事業	不動産賃貸事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	485,872	1,924,920	2,662,295	274,932	5,348,019	△1,076,785	4,271,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	485,872	1,924,920	2,662,295	274,932	5,348,019	△1,076,785	4,271,233
セグメント利益(又は損失△)	51,285	112,032	△48,040	237,925	353,202	△370	352,832

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△1,076,785千円及びセグメント利益の調整額△370千円は、主に連結会社間の内部取引消去等の連結修正金額であります。

2. セグメント利益(又は損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。